

白川中学校閉校式 ~72年の歴史に幕~



▲閉校記念式典の最後に、参加者全員で「ふるさと」を歌い、長く親しんだ学校との別れを惜しんだ



思い出 (立志登山)



白川ソーラン



思い出 (孫の手作り)



思い出 (学校生活)



思い出 (巣箱作り)

未来へつなごう「白川魂」



講演会



記念碑除幕式



思い出 (ソフトテニス)

白川中学校 校歌
 作詞 武田祐吉
 作曲 権藤円立

一 みどりも深き 若竹の
 つよくのびゆく いきおいに
 進取の気象 はつらつと
 われらは学ぶ 世界の文化

二 その名も清き 白石の
 川の流れの さやけさよ
 岸辺に咲ける すずらんに
 われらは思う 郷土の慈愛

三 高ねの雪の かがやける
 蔵王の山の とうとさよ
 はるかに仰ぐ 校庭に
 われらは歌う 日本の使命



1_杉山校長によるあいさつ 2_生徒を代表して前生徒会長の平間さんが、感謝の気持ちや白川中で培った経験、これからの決意などを述べた 3_白川中学校の校旗が校長と在校生代表から半沢芳典教育長（中央）に手渡され、最後は山田市長へ返納された

2月16日、白川中学校で閉校式、閉校記念式典が行われました。式には卒業生や歴代校長、白川地区の住民など約350人が出席。式では、杉山孝一校長が、「閉校は惜別の極みではありませんが、多くの先輩方がどんな困難にも屈することなく夢に向かい、志高くまい進してきた白川魂を持ち、輝かしい未来への活力にしていこうとを期待しています」と、あいさつしました。校長あいさつに続き、同校父母教師会佐藤ゆかり会長が、「今年度、生徒たちはさまざま大会で好成績を上げ、白川の名を残すことができました。たくさんさんの感動をもらい保護者にとっても特別な1年になりました」と来賓を代表してあいさつ。生徒代表の平間綾音さんが、「この白川中学校で学んだことを忘れず、若竹のようにまっすぐな気持ちを持って、次のステージで新たな伝統を創り上げていきます」と述べました。その後、出席者全員で校歌を斉唱し、最後に校旗が市へ返納されました。

式の後、記念式典が開かれ、在校生による白川ソーランや、卒業生による学校での思い出スピーチの披露など、出席者は学校の長い歴史を振り返っていました。

